

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	102 駐車場事業	会計	07	駐車場事業特別会計
		款	01	駐車場事業費
		項	01	駐車場事業費
基本 施策	66 文化・スポーツ施設などの公共施設を利用しやすくする	目	01	駐車場事業費
		細目	517	駐車場事業費
行革大綱の重点事項番号		細々目	01	駐車場事業費
担当部課	コード	11200		担当者 氏名
	名称	企画総務部管財課		
		梅田 佳生	連絡先	22 - 9610 (内線) 2326

**事務事業の概要 (Plan)**

対象(誰を、何を)	市民、観光客	※対象件数
成果(どうする)	市街地における円滑な道路交通の確保及びJR駅利用者の利便性の向上、並びに都市公園の効用を高めることができる。	
根拠法令・要綱等	地方自治法244条の2、伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例、伊賀市駐車場条例	
開始年度	平成 18 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	1.施設の経常経費の管理 2.施設の指定管理者との施設管理の調整 3.施設の営繕 4.駐車場用地の借り上げ ※管理駐車場……市庁舎駐車場、白鳳門駐車場、上野公園駐車場、東大手門駐車場、だんじり会館駐車場、城北駐車場、伊賀上野駅駐車場、佐那具駅駐車場、新堂駅駐車場、柘植駅駐車場、島ヶ原駐車場	
社会情勢の 変化等	市民等が安心して利用できる駐車場として、受託者を指導すると共に新たな駐車場の確保又は、駐車場不足を解消するため、観光シーズンには平日、城北駐車場を一時的に開放する必要がある。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	民間委託等
委託先	伊賀市シルバー人材センター、伊賀上野観光協会、佐那具駅構内営業運営委員会
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

**事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)**

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
駐車場利用台数		台	目標	105000	目標	105000
			実績	106873	実績	106161
駐車場管理業務委託料(駐車場指定管理料)		千円	目標	27086	目標	26500
			実績	28525	実績	24033

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
駐車台数回転率(駐車台数/駐車可能台数)		各駐車場の利用形態が違うので駐車台数回転率を指標とすることは問題はあるが、成果を測るため必要とする。(平面駐車台数 852台)	%	目標	0.64	目標	0.64
				実績	0.64	実績	0.64
月極利用台数		JR駅利用者の利便性の向上を図る指標として月極利用台数とする。	台	目標	170	目標	170
				実績	166	実績	152

投入コスト	直接事業費計 (A)	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
Aの 財源 内訳	国庫支出金	47,911	48,496	47,725	45,649
	県支出金				
	地方債				
	その他	47,184	48,260	47,725	45,649
	一般財源	727	236	0	0
事業投入人件費 (B)		0.5 人 3,600	0.5 人 3,600	0.5 人 3,600	0.5 人 3,600
フルコスト(A)+(B)		63,102	62,700	51,325	51,325

**事務事業の評価 (Check)**

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
有効性	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
達成度	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	
効率性	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	
	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 80%以上100%未満 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求めることができる事業である。	○
	全体コストにおける負担構成は適正である。	○
コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	○	

改善策	駐車場事業の収益を維持するとともに指定管理の長所を最大限に生かし、利用者のニーズに応え、身体障害者駐車区画の設置を行う。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 だんじり会館駐車場において、身体障がい者、思いやりスペースの設置工事を実施した。

**今後の方向性 (Action)**

担当課長氏名	宮崎 寿
事業の方向性	【方向性】 現状維持 【理由】 本事業は、特別会計事業を実施しており、平成22年度は、25,039千円(事業収入額の45.3%)、平成21年度は、21,604千円(事業収入額の39.5%)を一般会計へ繰り出している。その意味では、収益性の高い事業であり、継続を行う必要がある。
現時点における課題、その他	本事業では、11箇所での駐車場事業を実施しているが、事業経費が事業収入を上回っている駐車場が3箇所(伊賀上野駅前、島ヶ原駅前、新堂駅前駐車場)あり、運営方法の改善を検討する必要がある。 また、駅前ビル設置に伴う駐車場事業を、当特別会計で処理する計画があり、事業のあり方について検討していく必要をかかえている。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成22年度中に、駅前ビル関連の駐車場運営の方法を検討するとともに、3駐車場の運営方法についての検討をすすめる。